

2006年1月10日

公募型産学共同研究制度「旭硝子リサーチコラボレーション制度」 第2回プログラム採択研究課題決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、2004年より自社のニーズ・シーズに基づいた公募方式により、大学あるいは公的研究機関等と共同研究を行う制度（旭硝子リサーチコラボレーション制度）を導入しています。2005年も「ガラスなどの無機材料」及び「フッ素化学」の2分野で第2回目の公募を行った結果、54件の応募の中から共同研究テーマとして、次の研究課題を選定しました。これらの研究課題に対しては、当社がそれぞれ研究材料と年間約2千万円の研究費を3年間支給します。

- ・大阪大学大学院 工学研究科 教授 宇山浩
「樹脂材料の電界紡糸に関する研究」
- ・神奈川科学技術アカデミー 非常勤研究員 一杉太郎
「二酸化チタンをベースとした透明導電膜の研究」

また、上記の選に漏れた中から優れた研究課題を選出し、応募者に対して研究支援を実施します。研究支援の内容と応募者の所属大学は、次の通りです。

- ・研究資金の支給（1件あたり50万円から100万円。別途研究材料の提供を含む場合があります）
北海道大学、岩手大学、山形大学、東北大学、産業技術総合研究所、物質材料研究機構、学習院大学、東京工業大学（2件）、東京農工大学、静岡大学、豊田工業大学（2件）、名古屋大学、京都工芸繊維大学、大阪府立大学、岡山理科大学、山口大学、九州大学（3件）
- ・研究材料の提供
埼玉大学、滋賀医科大学、九州大学
- ・本制度外での共同研究の推進
群馬大学

当社は、共同研究により得られた成果を社内で積極的に活用し、継続的に新事業・新商品を創出することにより、高収益・高成長のグローバル優良企業を目指します。また、産学連携による価値創造を幅広く推進するために、2006年度も引き続き本制度を実施します。

なお、2006年度の募集要項は本年5月に公表の予定です。

以上

<ご参考> 2005年度旭硝子リサーチコラボレーション制度の募集要項は下記をご参照下さい。
（2005年度の募集は昨年8月10日に締め切られました。）
http://www.agc.co.jp/collaboration/index_2005.html

メディア関連のお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

（担当：箕田 TEL:03-3218-5408 Email:info-pr@agc.co.jp）

研究機関からのお問い合わせ先：旭硝子(株)中央研究所 増井 暁夫

（TEL:045-374-8715 Email:asahi-collaboration@agc.co.jp）